

# ゴーヘッドズ 速報

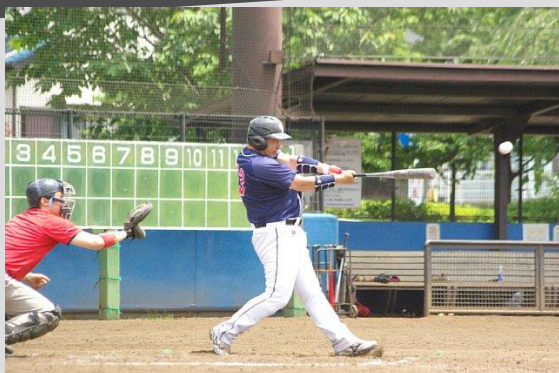
Goaheads

第12号 平成25年6月8日

深沢先制の2ベースで流れを掴む

梶原の2ベースがゲームを決めた!

	1	2	3	4	5	6	7	R
GL	0	0	0	0	2	0		2
G	0	1	5	1	0	0		7



6/8(土) 瀬谷本郷公園野球場にてGULLとのオープン戦を行った。梅雨入りしたとはいえ、非常に蒸し暑い、そんな天候の中で、今日のゲームは始まった。先発は、前回区民大会初戦を6回完投した達脇がマウンドに上がった。その彼の立ち上がり、内野フライと内野ゴロで幸先良い立ち上がりかと思った瞬間、次打者にセンター前に運ばれる。続く打者には、2ストライクを先行するものの、四球で出塁を許し、二死一・二塁と初回からピンチを迎えた。更には、投手横に打たれた打球の処理が出来ず、二死満塁となる。しかし、後続を一邪飛に斬り、失点シーンを0点に抑えた。翌2回には、一死後後続に出塁を許すも、緑川が二盗塁を阻み、次打者を見逃し三振に斬り、この日も0点に抑えた。ゲームが動いたのは、その裏の攻撃、一死後、梶原が四球を選択し出塁、その後緑川も死球により、一死一・二塁、この場面に今期そこそこの打点を稼いでいる深沢が打席に入る。その初球を振り抜き、打球は左中間へ、この2ベースで梶原が一挙生還し先制とした。続く3回には、一死後先頭の哲也がセンター前に運び出塁、次打者の場面に二盗、後続は倒れたが、三番打者の際に、三盗を決め、二死三塁。三番光希、四番祐太郎が連続四球を選択し出塁し、二死満塁と大量得点の予感、ここで打席に入った梶原が初球をレフト線に運ぶ2ベースとし、二走者が生還、その後も野手の失策にタイムリーが加わり、この回5点を挙げ、ゲームをほぼ手中に収めた。

先発した達脇は、4回まで0封としていたが、5回に先頭打者に左中間3ベースを打たれ無死三塁とされた。一死後四球により出塁を許し、場面は一死一・三塁、次打者を捕邪飛に斬り、0点に抑えられるかと思った次打者への投球は、粘られた5球目をセンターにはじき返され、この間に二走者がホームインし、2失点とした。しかし、これ以上、崩れる事なく、結果、中盤のダメ押しが効果し、今日のゲームを勝利した。

今日のゲームは、ランナーこそ出したが、粘りのピッチングでゲームを作った達脇の投球と、要所で打線が繋がった事による勝利では無いかと思う。チームとして、やるべき事が共有出来ると今日のようなゲームが出来ると感じたゲームであった。それにしても、高校球児のスウィーズは、改めて上手だな?とメンバーが感じたゲームでもあったと思う。